

国際広報メディア専攻

平成22年度
後期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはならない。
- 2 問題用紙は、この紙を含めて2枚ある。
- 3 解答用紙(25字×40行=1000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～3 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語
(横書き) で解答しなさい。

【問題 1】

産地や賞味期限などの偽装表示は、内部の関係者等から通報されて発覚するケースが多く、そのような内部告白者などの保護を目的とする法律が各国で整備されてきた。また、行政機関による様々な防止策が講じられている。にもかかわらず、未だに食品偽装は後を絶たない。これに対して、行政・消費者はどう対処すべきか、具体的に例を示しながら考えを述べなさい。

【問題 2】

情報テクノロジーの飛躍的な発展と大衆化によって、日常的な活動のほとんどがインターネットやモバイルなど情報機器を利用した仮想 (the virtual) の空間において可能となりつつある。その中で、人々は個人的な楽しみを追求する一方、仮想性と現実性が倒錯することで発生するさまざまな事件も憂慮されている。仮想世界と現実世界が相互融合することで、人間の感覚あるいは社会のコミュニケーション様式がどのように変化し、新しい日常性が構築されていくのかについて論じなさい。

【問題 3】

日本の少子高齢化、東南アジア諸国との自由貿易協定・経済連携協定をきっかけとして、フィリピンやインドネシアからの看護師受け入れが始まっている。彼らが日本で看護師として就業するためには日本の看護師免許取得が必要である。東南アジアからの看護師受け入れのための日本語教育にはどのような課題があり、その課題をどのように解決すればよいか、考えて論じなさい。